

四三二四番

遠江とへたほみ 白羽しるはの磯いそと 贅にへの浦うらと 合あひてしあらば  
言ことも通かゆはむ

四三二五番

父母ちちははも 花はなにもがもや 草枕くさまくら  
捧ささごて行ゆかむ 旅たびは行ゆくとも

四三二六番

父母ちちははが 殿とののしりへの ももよ草ぐさ  
百代ももよひいでませ 我わ  
が来きたるまで